事例No.	2145
公表年度	R4
団体の属性	都道府県
団体名	香川県

事例区分	DX

タグ	・人材確保・育成 ・ICT ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	デジタルデバイド対策

事例内容・タイトル

広く県民がICT・デジタルについて学ぶことのできる場

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

165 広く県民がICT・デジタルについて学ぶことのできる場【香川県】

事業の概要

○　香川県では、県内の高度情報化の推進拠点である「情報通信交流館」において、こども向けのプログラミング教室やシニア向けのスマホ講座など幅広い年齢層を対象とした講座を開催しているほか、ICT技術を体験できる企画展示やワークショップの開催など、県民の情報リテラシーの向上とICT技術の普及啓発を行っている。



○　学校等に出向いて実施する「情報モラル・セキュリティ学習」や「ITの魅力発信講座」のほか、パソコンやスマホの出張講座など、館外における学びの機会も多く提供している。



【参考情報①】 人口：97.4万人
関連URL：https://www.e-topia-kagawa.jp/ （情報通信交流館）

【参考情報②】地方創生推進交付金（内閣府）とは
URL：https://www.chisou.go.jp/tiiki/tiikisaisei/souseikoufukin.htm

もっと知りたい！　担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



進化し続ける情報通信技術に対応するためには、県民の情報リテラシーの向上と高度情報化社会を担う人材の育成が必要であることから、平成16年度に、県内の高度情報化の推進拠点として「情報通信交流館」を開館しました。

（香川県）



事業の近況を教えてください。



県民の情報リテラシーの向上やデジタルデバイドの解消に向け、初級者から上級者まで各レベルに応じたパソコン講座のほか、ICTを体験しながら学習できる展示やワークショップ等を開催しています。
令和３年度からは、新たにスマートフォンの入門講座を始めました。



これから事業を考えている自治体に向け、一言お願いします。



情報通信交流館は、開館以来、県民のニーズに基づき幅広い年齢層を対象とした講座を実施してきました。その中で、多くの方が継続的に学び、交流できる場の重要性を改めて感じています。

★担当：香川県政策部 デジタル戦略総室デジタル戦略課★

令和3年度事業費　248,672千円
（うち、地方創生推進交付金（内閣府）　5,547千円）